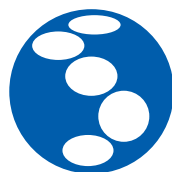


第2部

まち・ひと・しごと総合戦略 (重点プロジェクト)



第2次西海市
総合計画
後期基本計画

第1章 基本的な考え方

1 総合戦略策定の背景及び趣旨

本市の人口は、自然動態、社会動態ともに減少基調をとる本格的な人口減少局面に突入しています。

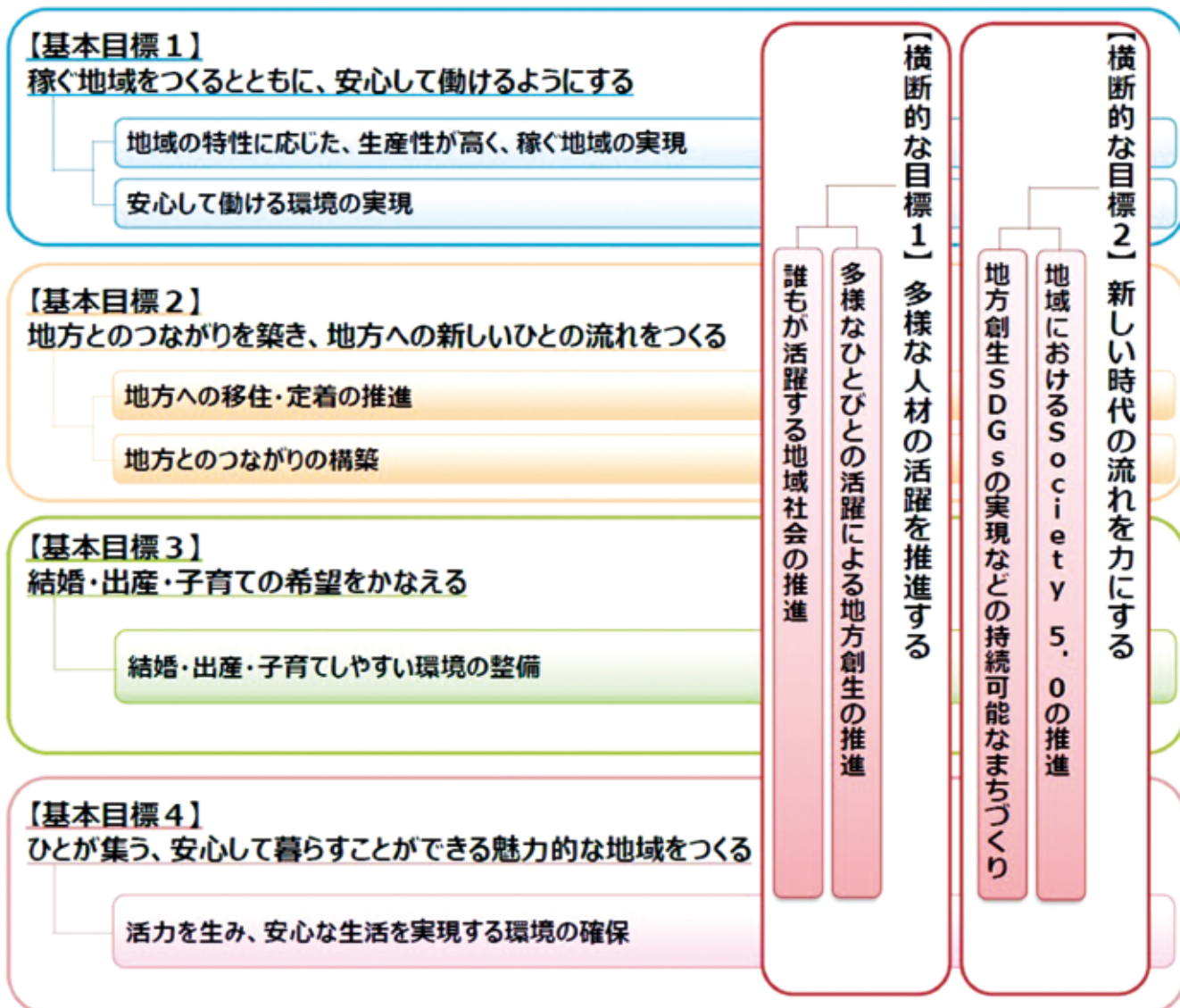
人口減少は、地域活力を減退させる大きな要因であることから、具体的な戦略として、「人口減少の抑制と地域経済の縮小の克服」、「まち・ひと・しごとの創生と好循環」の実現を目指し、今後の基本目標や取組施策をまとめた、「第2期西海市まち・ひと・しごと総合戦略」を策定しました。

平成27年度に策定した「第1期西海市まち・ひと・しごと総合戦略」の計画期間が令和3年度で最終年度を迎えたことから、さらなる地方創生の充実に取り組むための新たな総合戦略として、喫緊の課題である人口減少問題、働き手・担い手である若者の減少や地域の賑わいの喪失などの克服と地方創生を成し遂げていくため、第2次総合計画の重点プロジェクトに位置付け、今後5年間の分野横断的な取組についてまとめたものです。

2 国の第2期総合戦略における目指すべき将来と施策の方向性

国の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略(2020年度～2024年度)においては、将来にわたって「活力ある地域社会」の実現と、「東京圏への一極集中」の是正をともに目指すため、第1期総合戦略の政策体系を見直し、以下のとおり、4つの基本目標と「多様な人材の活躍を推進する」、「新しい時代の流れを力にする」という2つの横断的な目標が新たに設定され、これらの目標のもとに取り組むこととされています。

図表 国の第2期総合戦略体系



資料:第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略

なお、横断的目標のうち「新しい時代の流れを力にする」の中には、「地域における Society5.0[※]の推進」「地方創生SDGs[※]の実現などの持続可能なまちづくり」の2つの目標が掲げられており、第2期西海市まち・ひと・しごと総合戦略においても、こうした流れを踏まえた取組が求められます。今回の総合戦略にはSDGsの視点を取り入れ、戦略ごとにSDGsのゴールを関連付けてマーキングしています。

※Society5.0:

「狩猟社会」「農耕社会」「工業社会」「情報社会」に続く、人類史上5番目の新しい社会。サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する社会(Society)。

※SDGs:

持続可能な開発目標のことで、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

